

## 令和7年度私立短期大学入試広報担当者研修会 テーマ別分科会A報告書

### テーマ：オープンキャンパス・在学生のモチベーションアップ

コーディネーター

北海道武蔵女子短期大学 澁谷 太輔 委員

岡山短期大学 原田 俊孝 委員

山口短期大学 木橋 奏子 委員

#### 【Ⅰ テーマ別分科会の目的】

「オープンキャンパス・在学生のモチベーションアップ」、「SNS・WEB サイト」「高校訪問・高大連携・地域連携」「初任者研修（主に入試広報担当3年未満対象）」の4つのテーマの中から参加者が選択したテーマ内容について、テーマ別分科会で専門性の深化を図る。専門性の深化を図ることで、短期大学の教員・職員の資質の向上につながり、さらに、短期大学の魅力を再確認することで、参加した教員・職員の入試広報活動に質的向上につながる。

#### 【Ⅱ 実施方法・実施内容】 ※オンライン開催。Zoom のブレイクアウトルームを使用。

##### ◆テーマ別分科会1

北海道武蔵女子短期大学、山口短期大学、岡山短期大学の「オープンキャンパス・在学生のモチベーションアップ」事例を紹介し、各短大が掲げている課題の要点の整理を実施した。「オープンキャンパス・在学生のモチベーションアップ」のテーマ別分科会では、オープンキャンパスと在学生のモチベーションアップについて、5W1H法を用いて整理した。



##### ◆小規模分科会1

11グループの小規模分科会に分かれ、グループディスカッションを実施した。欠席があり3人のグループのところも複数あったため、委員がそのグループに入った。

##### ◆テーマ別分科会2

小規模分科会からくじで選抜し、各テーマ3分～5分程度の発表を実施した。

## ◆小規模分科会 2

テーマ別分科会②の内容を小規模分科会で整理、小規模グループ内の絆を深めた。

### 【IV 課題点と総括】

全体的によいテーマ別分科会であったと考えているが、アンケート結果から全体的に小規模分科会の時間が短いという意見が多数あった。また、小規模分科会のところに運営委員が入りディスカッションに参加することは、活発な議論が出来ないことが分かった。

小規模分科会の議論の時間を確保するために、講演の縮小、テーマ別分科会の縮小など解決策として挙げられるが、①話題提供、②アイスブレイクの時間が必要であるため現実的に難しい。また、2日制という意見もあるかと思うが、バーチャル間の時間的制約が求められるオンライン会議で2日制は難しいと考える。議論の質的向上を図るために、現在の予算的に困難であるが、将来的に来場型実施も視野に入れることも必要ではないかと考える。

運営委員の参加は、確かに議論の活発に貢献できると考えるが、3名でも議論が活発に行っているところもあり、「3名だから」という理由のみで議論に参加する必要はないと考える。運営委員の小規模分科会参加マニュアルを作成し参加者に示すことが必要ではないかと考える。

おわりに、アンケート結果において、この機会を通して入試広報を頑張りたいという意見も多数あった。本研修会は教員・職員の資質向上を図る上で重要な位置付けであるとする。今後も良い研修会になるよう一委員として尽力する所存である。